

関節リウマチのドクター調査 調査票

【調査対象ドクター】

- ・日本リウマチ学会専門医(指導医も含む)の資格を有するHPドクター(30名)
- ・現在担当している成人の関節リウマチ患者さんが50名以上(当調査では小児患者は対象としていません)
- ・成人の関節リウマチ患者さんに対して、生物学的製剤(10名以上)およびJAK阻害剤(1名以上)を処方している

※上記条件をいずれも満たしているドクターに調査を実施します。なお、調査予定数に満たない場合等は、上記条件を緩和させて頂く場合もございますこと、どうかご了承いただければ幸いです。

Q1	先生が担当しておられる 成人の関節リウマチ患者 さんは、何人いらっしゃいますか。 ※以降、成人の関節リウマチ患者さんについて、お答えください。	A1	人
----	--	----	---

Q2	先生が担当しておられる関節リウマチ患者さんのうち、薬物治療を行っている患者さんの割合を教えてください。	A2	%
----	---	----	---

Q3	先生が担当しておられる関節リウマチ患者さんの病期・進行度(Steinbrocker分類)別にみた患者さんの割合を教えてください。(計100%)
----	---

A3	Stage I (初期)	Stage II (中等期)	Stage III (高度進行期)	Stage IV (末期)
	%	%	%	%

Q4	先生は関節リウマチ患者さんの疾患活動性を評価する際に、何を基準にされていますか。主に使用されているものを教えてください(複数可)。 (1.DAS28/2.RAPID3/3.CDAI/SDAI/4.ACRコアセット/5.その他)
----	---

A4	評価指標	その他

Q5	では、Q4で選択された疾患活動性評価を用いた、疾患活動性別の患者さんの割合を教えてください。(計100%)
----	---

A5	寛解	低疾患活動性	中疾患活動性	高疾患活動性
	%	%	%	%

Q6	先生が担当されている関節リウマチ患者さんのうち、生物学的製剤もしくはJAK阻害剤を処方している患者さんはどれくらいいらっしゃいますか。(担当されている関節リウマチ患者さんを100%) また、そのうちMTXを併用している患者さんの割合がどの程度いらっしゃるかを教えてください。(各薬剤の処方患者さんを100%) ※なお、以降の設問では生物学的製剤の範囲から「プラリア」(デノスマブ)を除いてお答えください。
----	---

A6	薬物治療の内容	患者割合	うちMTXを併用している患者割合
	生物学的製剤	%	%
	JAK阻害剤	%	%

Q7-1	<p>関節リウマチの治療において、生物学的製剤とJAK阻害剤は同等程度の効果があるとされていますが、両剤とも使用可能な患者さんがいらっしゃる場合、先生はどちらを選択されることが多いですか。また、そのようにお答え頂いた理由を具体的に教えてください。</p> <p>(1.生物学的製剤を選択する場合は圧倒的に多い/2.生物学的製剤を選択する場合は多い/ 3.両剤とも同程度選択している/4.JAK阻害剤を選択する場合は多い/ 5.JAK阻害剤を選択する場合は圧倒的に多い)</p>
------	--

A7-1	どちらを選択するか	理由

Q7-2	では、関節リウマチ患者さんに対して、先生は生物学的製剤とJAK阻害剤をどのように使い分けされていますか。その基準を具体的に教えてください。
------	---

A7-2	
------	--

Q8-1	<p>先生が担当されている関節リウマチ患者さんに対する、生物学的製剤の薬剤別(ブランド別)でのおおよその処方割合を教えてください。(生物学的製剤を処方されている患者さんを100%/計100%)</p> <p>※先発品とバイオシミラーは区別してお答えください。なお、「プラリア」は除きます。</p>
------	---

A8-1	薬剤名(ブランド名)	処方患者割合
	①	%
	②	%
	③	%
	④	%
	⑤	%
	⑥	%
	⑦	%

Q8-2	Q8-1で回答頂いたそれぞれの生物学的製剤の薬剤(ブランド)について、これまでに第1選択薬として処方されたことはあります(ました)か。また、どのような症例が対象になるかを教えてください。 ※生物学的製剤の中の第1選択薬ではなく、薬物治療全体での第1選択薬についてお答えください。
------	--

第1選択薬での使用		対象となる症例	
A8-2	①	ある ・ ない	
	②	ある ・ ない	
	③	ある ・ ない	
	④	ある ・ ない	
	⑤	ある ・ ない	
	⑥	ある ・ ない	
	⑦	ある ・ ない	

Q8-3	先生が関節リウマチ患者さんに対して、 <u>生物学的製剤の中で最初に処方されることが多い</u> 薬剤(ブランド)は何ですか。主な薬剤名(ブランド名)と選択理由を教えてください(複数可)。 ※なお、「プラリア」は除きます。
------	--

薬剤名(ブランド名)		選択理由
A8-3	①	
	②	
	③	

Q8-4 では、Q8-3で回答された最初に処方される生物学的製剤から、2剤目と3剤目に切り替える場合の主な生物学的製剤の薬剤名(ブランド名)と選択理由をそれぞれ教えてください。
※なお、「プラリア」は除きます。

A8-4	2剤目(薬剤名)		選択理由
	①		
	②		
	③		

A8-4	3剤目(薬剤名)		選択理由
	①		
	②		
	③		

Q8-5 先生が担当されている関節リウマチ患者さんのうち、「プラリア」(デノスマブ)を処方している患者さんはどれくらいいらっしゃいますか。(担当されている関節リウマチ患者さんを100%)
 また、そのうち他の生物学的製剤を併用している患者さんのおおよその割合を教えてください。(「プラリア」を処方されている患者さんを100%)

A8-5	「プラリア」を処方している患者割合	うち他の生物学的製剤を併用している患者割合
	%	%

Q8-6 (「レミケード」もしくは「エンブレル」を処方しているドクターのみ)インフリキシマブ(「レミケード」「インフリキシマブBS」)もしくはエタネルセプト(「エンブレル」「エタネルセプトBS」)を処方している関節リウマチ患者さんのうち、**バイオシミラーを処方されていない患者さんがいらっしゃる主な理由**を教えてください。

A8-6

Q8-7	<p>生物学的製剤を使用している関節リウマチ患者さんに対する、今後のバイオシミラーの使用意向について、最も近いお考えのものをお答えください。</p> <p>(1.すべての患者にバイオシミラーを使用していきたい/2.これまでより使用する患者を増やしていきたい/3.これまでと同等程度の患者に使用していきたい/4.これまでより使用する患者を減らしていきたい/5.すべての患者に先発品(先行バイオ医薬品)を使用していきたい)</p>
------	---

A8-7	
------	--

Q9-1	先生が担当されている関節リウマチ患者さんに対する、JAK阻害剤の薬剤別(ブランド別)でのおおよその処方割合を教えてください。(JAK阻害剤を処方されている患者さんを100%/計100%)
------	---

	薬剤名(ブランド名)	処方患者割合
A9-1	① ゼルヤンツ	%
	② オルミエント	%
	③ スマイラフ	%

Q9-2	では、それぞれのJAK阻害剤の薬剤(ブランド)を使い分ける基準を具体的に教えてください。
------	--

A9-2	
------	--

Q10-1	先生が担当されている関節リウマチ患者さんのうち、 寛解している患者さん についてお伺いします。 患者さんが寛解導入を達成した際 の各薬剤(MTX、生物学的製剤、JAK阻害剤)のおおよその処方割合を教えてください。(Q5で回答頂いた「寛解」患者さんを100%) ※なお、「プラリア」は除きます。
-------	--

	薬剤名	寛解導入達成時の処方患者割合
A10-1	MTX	%
	生物学的製剤 (「プラリア」除く)	%
	JAK阻害剤	%

Q10-2	また、寛解導入を達成した際に使用していた生物学的製剤について、薬剤(ブランド)ごとのおおよその使用内訳(割合)を教えてください。(寛解導入時に生物学的製剤を処方されていた患者さんを100%/計100%)
-------	---

A10-2	薬剤名(ブランド名)	処方患者割合
	レミケード	%
	エンブレル	%
	ヒュミラ	%
	シンポニー	%
	シムジア	%
	オレンシア	%
	アクテムラ	%
	ケブザラ	%
	インフリキシマブBS	%
エタネルセプトBS	%	

Q10-3	Q10-1で回答頂いた寛解導入時の各薬剤について、 寛解導入後も継続して処方している 患者さんのおおよその割合を教えてください。(寛解導入時(Q10-1)に各薬剤を処方されていた患者さんを100%) また、生物学的製剤については、 寛解導入時より投与量を減量した 患者さんのおおよその割合を教えてください。(寛解導入後も生物学的製剤を処方継続している患者さんを100%)
-------	--

A10-3	薬剤名	寛解導入後も処方継続している患者割合	うち寛解導入後に減量した患者割合
	MTX	%	
	生物学的製剤 (「ブラリア」除く)	%	%
	JAK阻害剤	%	

Q10-4	寛解導入後に 生物学的製剤の使用を減量または休薬 する、主なタイミングもしくは患者特性を教えてください。
-------	---

A10-4	減量のタイミング (もしくは患者特性)	
	休薬のタイミング (もしくは患者特性)	

Q10-5	寛解導入を達成できない 患者さんの主な特性や症例を具体的に教えてください。
-------	--

A10-5	
-------	--

Q11	関節リウマチの薬物治療における各薬剤の満足度を①～⑧の評価項目について教えてください。 <u>(1.大変満足している/2.ある程度満足している/3.どちらともいえない/4.あまり満足していない/ 5.全く満足していない/6.使用していない・使用経験が少ない)</u>
-----	--

評価項目	<u>①関節疼痛・腫脹の改善効果 ②関節損傷の進行抑制効果 ③効果の発現速度・速効性 ④効果の持続性 ⑤副作用の発現頻度や重篤度の低さ ⑥剤型面での使いやすさ・利便性 ⑦用法(投与間隔)上の使いやすさ・利便性 ⑧治療効果と患者の薬剤費負担額とのバランス(患者の薬剤費負担額に対する治療効果)</u>
------	---

	薬剤	満足度							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
A11	MTX								
	【生物学的製剤】レミケード								
	【生物学的製剤】エンブレル								
	【生物学的製剤】ヒュミラ								
	【生物学的製剤】シンポニー								
	【生物学的製剤】シムジア								
	【生物学的製剤】オレンシア								
	【生物学的製剤】アクテムラ								
	【生物学的製剤】ケブザラ								
	【生物学的製剤】インフリキシマブBS								
	【生物学的製剤】エタネルセプトBS								
	【JAK阻害剤】ゼルヤンツ								
	【JAK阻害剤】オルミエント								
	【JAK阻害剤】スマイラフ								

Q12	先生が担当されている関節リウマチ患者さんのうち、治療満足度が低い患者さんはどれくらいいらっしゃいますか。また、それぞれどのような患者さんか具体的に教えてください。(担当されている関節リウマチ患者さんを100%)
-----	---

	治療満足度が低い患者特性	該当する患者割合
A12		%
		%
		%

Q13-1	<p>現在、関節リウマチを適応症とした治療薬の開発が、日本国内で主に下表の通り実施されています。これら薬剤について、関節リウマチの治療薬としての期待度とその理由を教えてください。また、下表の開発品（作用機序）以外に、日本国内もしくは海外で開発されている関節リウマチ治療薬として先生が期待されている薬剤がありましたら、期待度とその理由を教えてください。</p> <p><u>(1.大変期待している/2.ある程度満足している/3.どちらともいえない/4.あまり期待していない/5.全く期待していない/6.よく知らない)</u></p>
-------	---

日本国内で開発中の薬剤	作用機序/ターゲット	製品名	開発企業
	a) 抗フラクタルカイン抗体	E6011	エーザイ
	b) BTK阻害剤	TAS5315	大鵬薬品工業
	c) 抗GM-CSF抗体	GSK3196165	グラクソ・スミスクライン

A13-1	新薬候補	期待度	理由
	抗フラクタルカイン抗体		
	BTK阻害剤		
	抗GM-CSF抗体		

Q13-2	<p>Q13-1で回答頂いた開発品（「よく知らない」を回答した開発品は除く）をどのような患者さんに使用したいと思いませんか。処方対象となる患者像を教えてください。また、担当されている関節リウマチ患者さんのうち、それぞれどれくらいの割合の患者さんが処方対象になりますか。（担当されている関節リウマチ患者さんを100%）</p>
-------	--

A13-2	処方対象となる患者像	該当する患者割合
		%
		%
		%

Q14	では、具体的な薬剤に関係なく、先生が今後関節リウマチの治療薬に期待されていることを教えてください。
-----	---

A14	
-----	--

質問は以上になります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。